

令和5年度  
(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

# 事業報告書

(法人本部)

社会福祉法人 誠和福社会

理事長印



# 令和5年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会 法人本部

## 1. 法人の名称及び本部所在地

名称：社会福祉法人 誠和福祉会

所在地：伊勢原市沼目2丁目6番3号

## 2. 法人の基本方針及び定款に定める目的

### ■基本方針

「ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために」

### ■定款の目的

この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的とする。

## 3. 法人が実施した事業及び施設名・事業所・事務所等

実施事業	施設等の名称	所在地	事業の種類	定員
保育所の設置経営	伊勢原愛児園	伊勢原市沼目2丁目6番3号	保育所	90名
〃	分園わかば	伊勢原市沼目1丁目98番1	保育所（分園）	20名
一時預かり事業の実施	〃	〃	一時預かり事業	5名程度
保育所の設置経営	比々多保育園	伊勢原市坪ノ内80-1	公私連携型保育所	120名
一時預かり事業の実施	〃	〃	一時預かり事業	5名程度

## 4. 理事・監事の氏名等

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事	石井誠一	当法人理事長	理事	石井和弘	当法人事務局長
理事	細野育夫	元小学校長、元公民館長	理事	畠中治知	元小学校長
理事	山口幸男	元会社員、社福理事長	理事	飯塚裕子	保育園園長
監事	亀井 暁	元市役所職員	監事	安部川 忠	元信用金庫支店長

## 5. 理事会開催状況

期 日	内 容
令和5年5月25日 出席理事：6名 出席監事：2名	第1号議案 令和4年度 事業報告及び決算報告 第2号議案 令和5年度 第1回補正予算（本部、各施設） 第3号議案 役員（理事、監事）候補者の推薦について 第4号議案 評議員候補者の推薦について 第5号議案 評議員選任、解任委員の選任について 第6号議案 社会福祉充実計画について

	第7号議案 定時評議員会の日時、場所、議題等 第8号議案 理事長等の職務執行状況の報告について
令和6年3月18日 出席理事：5名 出席監事：2名	第1号議案 令和5年度補正予算 各施設（第2回目） 第2号議案 令和6年度予算及び事業計画 第3号議案 人事について 第4号議案 理事長等の職務執行状況の報告について

## 6. 評議員の氏名等

氏名	備考	氏名	備考
小澤 和博	元市役所職員、社福理事、評議員	安田 博美	元民生委員主任児童委員
今井 勝重	元市役所職員	市岡 広美	元民生委員主任児童委員
三橋 貴文	保育園園長、社福理事長、評議員	落合 至	保育園園長、社福理事、評議員
佐藤 千鶴子	元保育園園長、社福理事		

## 7. 評議員会開催状況

期 日	内 容
令和5年6月12日 出席評議員：5名 出席理事：2名 出席監事：1名	第1号議案 令和4年度 事業報告 第2号議案 令和4年度 計算書類及び財産目録の承認 第3号議案 社会福祉充実計画について 第4号議案 新役員（理事及び監事）の選任

## 8. 監事監査の実施状況

実施日時	監査担当者	監査結果
令和5年5月23日	亀井 暁 安部川 忠	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。</li> <li>理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。</li> <li>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。</li> </ul>

## 9. 法人及び施設監査

実施日時	監査対象	実施者	監査結果
令和6年3月7日提出	比々多保育園	書類 神奈川県	特に指摘事項はなかった
令和6年3月7日提出	伊勢原愛児園	書類 神奈川県	特に指摘事項はなかった

## 10. 法人をめぐる事業環境・経済環境の状況（法令・通知等の改定を含む）

### (1) 当年度の事業の経過及び成果

- 法人運営及び保育所運営共に、一年を通して順調に推移した。
- 保育内容や行事についても事業計画に基づき概ね計画通りに実施できた。

保育所経営の面では、各施設とも安定化と強化に向けて前進できている。

(2) 当期に発生した重要な事象について、その内容・事業経営への影響に関する説明、及び、当法人が扱っている対策

■特になし

(3) 法人の事業に関わる重要な許認可及び重要な契約に関する事項

■特になし

(4) 当年度に行った重要な設備投資及びそれに係る資金調達

■固定資産物品の購入等

・伊勢原愛児園

給食ガステーブル（約 35 万円）、次亜塩素酸水生成器（約 33 万円）

・比々多保育園

避難車（約 16 万円）

■修繕等

・伊勢原愛児園

給食エレベーター修理（約 130 万円）

1 1. 来会計年度以降において取り組むべき重要な課題とそれに対する法人の戦略・計画

■収支のバランス等を考えながら、経営の安定化と強化を更に進める。

■行政等との話し合いや情報収集に努める。

■次年度においても保育理念のもとに、運営や経営の健全化、透明性、保育の資質向上を図り、地域の子育て拠点としての役割と使命の遂行に向けて一層の努力をして行く。

■働き方改革が実施される中での職員の労務環境の改善及び各規程整備。

■適切な施設整備等の検討

■各種感染症対策の充実



令和5年度  
(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

# 事業報告書

(施設 伊勢原愛児園)

社会福祉法人 誠和福社会

理事長印





# 令和5年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会  
 保育所 伊勢原愛児園

## 1. 概要

事業計画の保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえて計画した事業を推進し、子どもたちが健康、安全で、情緒の安定した生活が出来る環境を整え、健全な心と体の発達を図る保育の充実に向け、また、各行事も概ね予定通り行うことが出来た。

- ・入所児童数については、平均入所率 103%と定員を上回ることができた。実績 1,357 名（前年度：1287 名）
- ・子育て支援については、地域育児センター事業等、施設見学・園庭解放・未就園児の保育園行事への参加等を行い、地域の保育ニーズにも各種感染症対応を行い取組んだ。
- ・一時預かり事業については分園にて実施し 700 名の実績となった。（前年度：551 名）
- ・延長保育事業の実績は 1,389 名（前年度：1,698 名）
- ・保護者支援として、保育参観や個々面談等は各種感染症対応をしながら取組んだ。
- ・地域交流としては、近隣の小学校等との連携を図ったが、近隣の老人ホームとの交流は各種感染症対策のため中止となった。
- ・分園の運営についても、おおよそ計画通り進んだ。
- ・給食費や延長保育料等の集金業務を、現金集金からキャッシュレス決済に変更したことにより、保護者や職員の利便性を高められた。
- ・職員の採用状況及び退職状況

4月に保育士5名（正規3名、パート2名）、調理員1名（パート）を採用したが、年度の途中での退職者が多く、更に保育士4名（パート）、保育士補助1名を中途採用した。

年度途中及び年度末の退職者：保育士8名（正規4名、パート4名）、調理員1名（パート）

## 2. 保育園の運営

### （1）児童の処遇

■定員 110名（本園90名、分園20名）

■開所時間 7：00～19：00（有料延長保育時間18：00～19：00）

■保育時間 8：30～16：30

■年間入所児童数

	0歳児		0歳児(分)		1歳児		1歳児(分)		2歳児		2歳児(分)		3歳児		4歳児		5歳児		合計					入所率
	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	標(分)	短	短(分)	合計	
4月	8	0	4	1	11	1	7	1	15	0	9	0	17	3	18	2	13	2	82	20	8	2	112	102%
5月	8	0	4	1	11	1	7	1	15	0	9	0	17	3	17	3	13	2	81	20	9	2	112	102%
6月	8	0	4	1	10	1	7	1	15	0	9	0	17	3	17	3	13	2	80	20	9	2	111	101%
7月	9	0	4	1	11	1	7	1	15	0	8	1	16	4	17	3	13	2	81	19	10	3	113	103%
8月	9	0	4	1	11	1	7	1	15	0	8	1	16	4	17	3	13	2	81	19	10	3	113	103%
9月	9	0	4	1	10	2	7	1	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	79	18	11	4	112	102%
10月	9	0	4	1	10	2	5	3	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	79	16	11	6	112	102%
11月	9	0	5	1	11	2	6	3	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	80	18	11	6	115	105%
12月	9	0	5	1	11	2	6	3	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	80	18	11	6	115	105%
1月	8	0	5	1	11	2	6	3	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	79	18	11	6	114	104%
2月	8	0	5	1	11	2	6	3	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	79	18	11	6	114	104%
3月	8	0	5	1	11	2	6	3	15	0	7	2	16	4	17	3	12	2	79	18	11	6	114	104%
合計	102	0	53	12	129	19	77	24	180	0	92	16	195	45	205	35	149	24	960	222	123	52	1357	平均
	102		65		148		101		180		108		240		240		173		1357				同数	103%

（前年度：1287名）

## (2) 保育内容

保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえた各年齢ごとの年間指導計画、月案、週案、日案を立て、その計画に基づいて保育を実施した。また、実施後は評価及び振り返りを行い、次の目標に生かして保育を行った。

### ■運動遊びの推進

年少児以上には毎週、運動遊びの日を設け、運動機能の向上を目指した活動をした。なわとびや長距離散歩、マラソンなどを通して、体力向上をねらい実施した。

### ■食育の推進

おやつ作りやいもほり、みかん狩りなど、食に関する行事を通し、食べ物のありがたさや料理を作ること、また、作ってくれる人に感謝する気持ちを持つなど、食に関する関心を高めた。

また、食育指導では、栄養士が主となり自分の体に必要な食品の種類や働きを教え、食事のバランスを考える事や食物やそれを作ってくれる人たちに感謝できる心を育てた。

また、だんご作りやおやつ作りなどを通し、直接食材に触れる事により感触などを楽しんだり、また、衛生面の学びも出来た。新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら実施した。

### ■環境活動

年長児は毎日ゴミ当番活動をし、各クラスや保育園内のゴミを収集する活動をした。

### ■縦割り保育（3～5歳児の縦割り保育）

異年齢の交流により、年下の子に対する思いやりや、年上の子に対する憧れなど、年齢差による社会性を育んだ。また、各行事に向けた準備等にも異年齢グループで積極的に取り組んだ。

### ■保護者との連絡・連携

①連絡ノート（キッズビュー使用）により毎日の保育状況や健康状態を伝え、家庭との連絡を密に行った。

また、各クラスのボードに毎日の活動内容や保護者への連絡等を掲示し伝達した。

②毎月、園だより、各クラスだよりや給食の献立を発行し配布した。

③送迎時には、その日の出来事や健康状態等を口頭にて伝えた。

④6月各クラスの保育参観及び個々面談及び1～2月に各クラスの保育参観や個々面談を行い、家庭と園との連携を深めた。

⑤玄関ホールには、年間の行事計画表や感染症等の注意、苦情解決の仕組み・第三者委員等の掲示をした。

⑥ホームページを都度更新し、保育活動等の報告を行った。

⑦「保護者の一日保育体験」は新型コロナウイルス感染症の防止のため中止。

⑧年末の大掃除などは新型コロナウイルス感染症の防止をしながら行った。

## (3) 令和5年度 主な年間行事報告

新型コロナウイルス感染症対応のため内容を変更しながらも、概ね事計画通り行うことが出来た。

大きなケガがなく行えたことが何よりだった。さらに、子どもたちが主体的に活動を行えるように援助していきたい。

## (4) 特別保育事業

### ■一時預かり保育事業状況（利用延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
41	35	54	39	26	47	71	58	59	89	89	92	700

(前年度：551名)

### ■延長保育事業状況（利用延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
102	103	121	121	125	133	110	111	118	111	107	127	1389

(前年度：1698名)

### (5) 地域育児センター事業

例年と変わらない内容であった。まだまだ利用者数は少ないので、さらに周知していく必要がある。

事業名	内容	延べ人数
通常育児相談	電話、面接等により、保護者の抱える育児、子育てに関する問題に対し助言等を行った。	94名
在宅育児支援事業	未就園児の乳幼児を持つ保護者に対し、園舎、園庭を開放し、保育園の行事やイベント等への参加を通し交流を行った。 ① ふれあいサロン ② 園庭解放 週3日(火・木・土) 10:00~12:00,14:30~16:30	①28名 ②39名

### (6) 職員の状況

#### ■令和5年度初(令和5年4月1日現在)

区分	園長	事務局長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	医師	合計
正規	1	1	1	13	3		1		20
常勤的パート				6					6
短時間パート				15		4	1		20
嘱託								2	2
合計	1	1	1	34	3	4	2	2	48

\*派遣職員、育休中等含む

#### ■令和5年度末(令和6年3月31日現在)

区分	園長	事務局長	主任保育士	保育士	保育補助	栄養士	調理員	事務員	医師	合計
正規	1	1	1	12		3		1		19
常勤的パート				8						8
短時間パート				15	1		4	1		21
嘱託									2	2
合計	1	1	1	35	1	3	4	2	2	50

\*派遣職員、育休中等含む

### (7) 職員会議等の状況

計画的に行事などを行うためにも適宜話し合いを持ちながら進めた。

午睡中の45分間を使い各会議を行った。時間が短いことで集中して行うことが出来た。

会議名	回数	内容
朝礼	毎朝	毎朝の9時35分時点での報告、連絡及び職員体制等の確認
連絡会	2回/月	子どもの様子やクラスの状況等を報告、検討。
給食会議	1回/月	給食の実施について課題等の話し合い。アレルギー対応など。
職員会議	1回/月	行事の計画・反省等。
保育計画委員会	1回/月	各クラス1名の代表により毎月の保育計画を立てる。
研修企画委員会	1回/月	勉強会の企画運営、外部研修の計画

### (8) 職員研修

#### ■園内研修

◎毎月2回の連絡会で、子どもたちの様子やクラスの状態等を話し合い、全職員で情報の共有を図った。

◎勉強会として、毎月1回、昼休みの45分間、テーマを決めて全職員が参加し保育の質の向上を目的に充実した勉強会を行った。

勉強会内容
保育理念・全体的な計画の再確認、各マニュアルの再確認、誠和福祉会CREDOについて、不適切保育について（子どもを尊重する保育のために、全国保育士会の作成した「人権擁護のためのセルフチェックリスト」に基づき行った）

#### ■外部研修：参加状況

実施月	内容	主催	参加者
5月	人事・労務担当者研修	神奈川県社会福祉センター	1名
9月・10月・11月×2回	乳児保育研修	神奈川県保育会	1名
8月×2回	防火管理者講習	日本防火・防災協会	1名
8月×2回	乳児保育研修	(株)ポピンスプロフェッショナル	1名
8月×2回	幼児教育研修	(株)ポピンスプロフェッショナル	1名
11月×2回	保護者支援・子育て支援	(株)ポピンスプロフェッショナル	1名
11月	保健衛生・安全対策研修（ZOOM12H・集合1回）	(株)ポピンスプロフェッショナル	1名
7月	食育・アレルギー研修（ZOOM研修）	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター	1名
1月	主任保育士研修	全国保育士会	1名
6月・7月	新任保育士研修	保育センター	1名
*その他、神奈川県保育士会、神奈川県保育会、神奈川県社会福祉協議会等の研修会に参加した。			

#### (9) 実習生、ボランティア、職場体験等受け入れ状況

保育士不足の中、将来保育現場を担う実習生をさらに積極的に受け入れて行く必要がある。

保育実習生	実習前体験	職場体験	夏期保育体験	保育ボランティア	ふれあい体験
9名	2名	2名	6名	0名	0名

### 3. 保健衛生

#### ■園児

毎月	身体測定（身長・体重） 毎月、月始めに実施し、自分の体の成長に気づき、喜びを共有出来た。
9月	4、5歳児尿検査実施（特に問題なし）
5月、11月	内科検診実施 園医に内科検診をしていただく中で、自分の体に関心を持ち、健康の大切さを理解して行った。
5月、11月	歯科検診実施 虫歯にならないための歯みがきの大切さを指導し、また、園医に歯科検診をしていただく中で歯磨きやうがいの大切さを知り、歯を大切にすることを指導した。
入園時	入園児健康診断の実施（ただし、入園後2ヶ月以内に園実施の内科検診がある場合は、それを持って入園児健康診断とする）

#### ■職員

毎月	毎月2回 全職員対象で細菌検査を実施
随時	年1回の健康診断実施
随時	インフルエンザ等の予防接種の推奨（10月）

#### ■施設

5月、9月	園内消毒（害虫駆除）の実施 食品衛生法の下、園舎内の害虫駆除を業者にて行った。また、園庭の樹木伐採等を行い、衛生管理に取り組んだ。
-------	--

12月	貯水タンクの清掃及び水質検査の実施
-----	-------------------

#### ■各種感染症対策

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、従前の生活様式に徐々に戻した。アルコール消毒、検温センサーの設置、手洗いうがいの励行、午睡時の間隔確保、換気励行などは引き続き実施した。

#### 4. 安全管理

呼吸チェック	0・1歳児は、午睡中10分間隔で呼吸チェックしSIDSの防止に努めた その他のクラスは午睡状態を適宜観察した
アレルギーチェック	食物アレルギーのある児童については、次月の給食献立を保護者にチェックして頂き、アレルギー物質の除去、または代替え食にて対応した。 また、給食提供時には、調理員、クラス担任のチェックを施し再確認した
安全チェック	月に1度、「安全チェックリスト」にて園舎内外の安全面を確認した
避難訓練 (毎月)	毎月火災や地震などを想定し、避難訓練計画に則り実施した。 いろいろな災害を想定し、自分の身を守る方法を教えると共に、防災の意義を持たせ、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。
防犯訓練 5月 9月 1月	年に3回不審者回避等の訓練を行った 不審者に遭遇した場合の対応方法(子ども向け)をDVDを見ながら学んだ。また、正面玄関や園庭からの不審者進入に対し、児童の安全を第一義とした防犯避難訓練を実施し、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。
交通安全指導 (各月実施)	各月で交通ルール等の指導をした 散歩時に信号機の見方やルールを教えたり、各クラスで紙芝居や絵本を使って交通安全の大切さを学んだ。
消防設備点検	5月、11月に、総合警備保障に委託して実施した

#### 5. 地域交流

大田小学校との交流を行った。

- ・小学校2年生の施設見学受け入れ
- ・「ようこそねんちょうさん」に参加
- ・新一年生に関わる情報交換

近隣の老人ホーム(バーデンライフ)との交流は各種感染症対策のため中止となった。

また、伊勢原市教育センター主催の「地域教育機関等連絡協議会」(中学校学区4グループでの協議)は新型コロナウイルス感染症対応しながら実施された。

#### 6. 苦情解決等

ご意見箱を設置したが小さな要望等はあるが、大きな苦情となるようなものはなかった。  
内容的には要望や指摘事項もあったが全体的に満足いただけている結果であった。

#### 7. 施設整備等

- ・固定資産としては、給食ガステーブル(約35万円)、次亜塩素酸水生成器(約33万円)等購入した。
- ・修繕として、給食エレベーター修理(約130万円)を行った。
- ・集金業務のキャッシュレス決済の導入



令和5年度  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

# 事業報告書

(施設 比々多保育園)

社会福祉法人 誠和福社会

理事長印





# 令和5年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会  
保育所 比々多保育園

## 1. 概要

事業計画の保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえて計画した事業を推進し、子どもたちが健康、安全で、情緒の安定した生活が出来る環境を整え、健全な心と体の発達を図る保育の充実に努め、また、各行事も概ね予定通り行うことが出来た。

- ・入所児童数については、平均入所率97%と定員を下回った。実績1,394名（前年度：1,393名）
- ・子育て支援については、地域育児センター事業等、施設見学・園庭解放・未就園児の保育園行事への参加等を行い、地域の保育ニーズにも各種感染症対応を行い取組んだ。
- ・一時預かり事業については671名の実績となった。（前年度：473名）
- ・延長保育事業の実績は437名（前年度：359名）
- ・保護者支援として、保育参観や個々面談等は各種感染症対応をしながら取り組んだ。
- ・地域交流としては、近隣の小学校等との連携を図り、また近隣の事業所に園児が訪問したりした。
- ・職員の採用状況及び退職状況  
4月に保育士1名（パート）を採用したが、年度の途中で保育士1名（パート）が退職したため、保育士1名（正規）、保育士補助1名を中途採用した。  
年度途中及び年度末の退職者：保育士2名（パート）

## 2. 保育園の運営

### (1) の処遇

■定員 120名

■開所時間 7:00~19:30（有料延長保育時間7:00~7:29、18:31~19:30）

■短時間保育時間 8:30~16:30

標準保育時間 7:30~18:30

■年間入所児童数

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計			入所率
	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	合計	
4月	7	0	15	1	18	1	18	3	20	4	20	3	98	12	110	92%
5月	7	0	17	1	19	0	18	3	21	4	20	3	102	11	113	94%
6月	7	0	17	1	19	0	18	3	23	2	20	3	104	9	113	94%
7月	8	0	17	1	18	1	18	3	23	2	20	3	104	10	114	95%
8月	8	0	16	2	18	1	18	3	23	2	20	3	103	11	114	95%
9月	9	0	17	2	18	1	18	3	24	2	20	3	106	11	117	98%
10月	9	0	16	4	18	1	18	3	22	4	20	3	103	15	118	98%
11月	9	0	17	4	19	1	18	3	22	4	20	3	105	15	120	100%
12月	9	0	17	4	19	1	18	3	21	5	19	4	103	17	120	100%
1月	9	0	17	4	19	1	17	4	21	5	19	4	102	18	120	100%
2月	8	0	17	4	19	1	17	4	20	5	19	4	100	18	118	98%
3月	8	0	17	4	17	2	17	4	21	4	19	4	99	18	117	98%
合計	98	0	200	32	221	11	213	39	261	43	236	40	1229	165	1394	平均
	98		232		232		252		304		276		1394		同数	97%

（前年度：1393名）

## (2) 保育内容

保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえた各年齢ごとの年間指導計画、月案、週案、日案を立て、その計画に基づいて保育を実施した。また、実施後は評価及び振り返りを行い、次の目標に生かして保育を行った。

### ■外部講師による指導

◎0.1.2歳児は、ふれあい遊びとして、リズム遊び・赤ちゃん体操・わらべ歌・絵本の読み聞かせなど  
今年度は、コロナウイルス感染症の防止のため、ふれあい遊びは中止した。

◎3.4.5歳児は、音楽教室として、リズム遊び・歌（手話）・楽器遊びなど

◎4.5歳児は、体育教室として跳び箱・マット・鉄棒・縄跳び・ボールなどを定期的に行い、保育参加や生活発表会で披露し、保護者と共に子どもの成長・発達を喜び合った。また、5歳児は、不定期ではあるが、お茶会を体験し日本古来の伝統に触れたり、異年齢（3～5歳児）で雰囲気を楽しんだ。

### ■食育の推進

野菜作りやクッキング・バイキング給食など、食べ物のありがたさや料理を作ること、また、作ってくれる人に感謝する気持ちを持つなど、食に関する関心を高めた。

また、食育指導では、栄養士や担任保育士により自分の体に必要な食品の種類や働きを教え、食事のバランスを考える事、食事のマナーや食物を作ってくれる人たちに感謝できる心を育てた。

### ■縦割り保育（3～5歳児の縦割り保育）

異年齢の交流により、年下の子に対する思いやりや、年上の子に対する憧れなど、年齢差による社会性を育んだ。内容として年に数回“わくわくデー”と称し、園外保育やどろんこ遊び・ハロウィン・クッキング・ミニオリンピック・お茶会など楽しい活動を計画した。わくわくデーは規模を縮小して行い、どろんこ遊びは行わなかった。

### ■保護者との連絡・連携

①連絡ノート（キッズビュー使用）により毎日の保育状況や健康状態を伝え、家庭との連絡を密に行った。

また、各クラスのボードに毎日の活動内容や保護者への連絡等を掲示し伝達した。

2歳以上児ではおたより帳を使用し、連絡がある場合に活用した。

また、各クラスのボードに毎日の活動内容や保護者への連絡等を掲示し伝達した。

早朝・延長保育では連絡ノートを用いて各クラスからの伝言・連絡を伝えた。

②毎月、園だより、各クラスだよりや給食の献立を発行し配布した。

③送迎時には、その日の出来事や健康状態等を口頭にて伝えた。

④保育参観や懇談会・個々面談を行い、家庭と園との連携を深めた。

⑤玄関ホールには、感染症等の状況報告や注意喚起、職員室前に苦情解決の仕組み・第三者委員等の掲示をした。

⑥毎月の誕生会は、毎年誕生児の保護者の方を招待していたが、コロナウイルス感染症の防止のため、保育士と園児でお祝いをした。

## (3) 令和5年度 主な年間行事報告

ほぼ年間行事計画通り行うことが出来た。大きなケガがなく行えたことが何よりだった。さらに、子どもたちが主体的に活動を行えるように援助していきたい。

## (4) 特別保育事業

### ■一時預かり保育事業状況（利用延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
47	39	47	55	50	55	76	57	56	46	76	67	671

(前年度：473名)

### ■延長保育事業状況（利用延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
42	33	39	39	26	49	40	37	31	32	36	33	437

(前年度：359名)

### (5) 地域育児センター事業

育児相談件数としては少ないが、施設見学を希望し、子どもの発育・発達や園生活に関心を示す。保育園が実施している地域育児センター事業について、広く周知していく必要がある。

事業名	内容	延べ人数
通常育児相談	電話、面接等により、保護者の抱える育児、子育てに関する問題に対し助言等を行った。	74名
在宅育児支援事業	未就園児の乳幼児を持つ保護者に対し、園庭を開放したり保育園の行事に誘い交流を行った。 ① 園庭解放 平日 10:00~12:00 ② 保育園行事…夏まつり・運動会・クリスマス会	①3名 ②0名

### (6) 職員の状況

#### ■令和5年度初（令和5年4月1日現在）

区分	園長	主任保育士	保育士	保育士補助	栄養士	調理員	医師	合計
正規	1	1	9		委託	委託		11
常勤的パート			8					8
短時間パート			9					9
嘱託							2	2
合計	1	1	26				2	30

\*派遣職員、育児休業中含む

#### ■令和5年度末（令和6年3月31日現在）

区分	園長	主任保育士	保育士	保育士補助	栄養士	調理員	医師	合計
正規	1	1	10		委託	委託		12
常勤的パート			7	1				8
短時間パート			9					9
嘱託							2	2
合計	1	1	26	1			2	31

\*派遣職員、育児休業中含む

### (7) 職員会議等の状況

計画的に行事などを行うためにも適宜話し合いを持ちながら進めた。

午睡中の45分間を使い各会議を行った。時間が短いことで集中して行うことが出来た。

会議名	回数	内容
朝礼	毎朝	毎朝の9時30分時点での報告、連絡及び職員体制等の確認
連絡会	2回/月	子どもの様子やクラスの状況等を報告、検討。
給食会議	1回/月	給食の実施について課題等の話し合い。アレルギー対応など。
職員会議	1回/月	行事の計画・反省等。
クラス会議	数回/年	クラス内で、連絡会・職員会議等での確認事項や子どもへの関わりについての話し合い。
以上児・未満児会議	数回/年	各クラス1名の代表により、行事等の確認。

### (8) 職員研修

#### ■園内研修

保育所保育指針が9年ぶりに改定され平成30年度より新たな適用となり、保育士はその職責を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならないことを自覚し、自己研鑽・保育にあたる。

◎毎月2回の連絡会で、子どもたちの様子やクラスの状態等を話し合い、全職員で情報の共有を行った。  
 ◎勉強会として、年度後半より毎月1回（4日に分けて）昼休みの45分間、テーマを決めて全職員が参加し保育の質の向上を目的に充実した勉強会が出来た。

さらに若い職員や経験の少ない職員からの発言や意見などが出てくる雰囲気にしていく必要がある。

勉強会内容
不適切保育の防止のための話し合いをする

■外部研修：参加状況

実施月	内容	主催	参加者
9.10.11.1.2	保健衛生・安全対策(キャリアアップ)	保育センター	1名
6.7.9.10.10	乳児保育（キャリアアップ）	保育センター	1名
9.10.11.1.2	幼児保育(キャリアアップ)	保育センター	1名
9.10.11.12.2	保護者支援（キャリアアップ）	保育センター	1名
その他、県保育会・市保育士会の研修に参加した。			

(9) 実習生、ボランティア、職場体験等受け入れ状況

保育士不足の中、将来保育現場を担う実習生をさらに積極的に受け入れて行く必要がある。

保育実習生	看護実習生	職場体験	夏期保育体験	実習生見学	
4名	0名	7名	12名	1名	

3. 保健衛生

■園児

毎月	身体測定（身長・体重） 毎月、月始めに実施し、自分の体の成長に気づき、喜びを共有出来た。
6月	4、5歳児尿検査実施（特に問題なし）
5月、10月	内科検診実施 園医に内科検診をしていただく中で、自分の体に関心を持ち、健康の大切さを理解して行った。今年度は、園医より年1回の実施の要望があった。
5月、10月	歯科検診実施 虫歯にならないための歯みがきの大切さを指導し、また、園医に歯科検診をしていただく中で歯磨きやうがいの大切さを知り、歯を大切にすることを指導した。
入園時	入園児健康診断の実施（ただし、入園後2ヶ月以内に園実施の内科検診がある場合は、それを持って入園児健康診断とする）

■職員

毎月	毎月2回 全職員対象で細菌検査を実施
随時	年1回の健康診断実施
随時	インフルエンザ等の予防接種の推奨（10月）

■施設

5月、9月	園内消毒（害虫駆除）の実施 食品衛生法の下、園舎内の害虫駆除を業者にて行った。また、園庭の樹木消毒も行い、衛生管理に取り組んだ。
6月、10月、2月	給食雑排水槽汲出清掃及び汚泥分析

4月、9月	秦野保健所による衛生検査の実施（特に指摘事項はなかった）
随時	園庭・園舎まわりの草むしり、枝の剪定

#### ■各種感染症対策

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、従前の生活様式に徐々に戻した。アルコール消毒、検温センサーの設置、手洗いうがいの励行、午睡時の間隔確保、換気励行などは引き続き実施した。

## 4. 安全管理

呼吸チェック	0・1歳児は、午睡中5分間隔で呼吸チェックし「睡眠中における呼吸等確認表」を用いてSIDSの防止に努めた。 その他のクラスは午睡状態を適宜観察した。
アレルギーチェック	食物アレルギーのある児童については、次月の給食献立を保護者にチェックして頂き、アレルギー物質の除去、または代替え食にて対応した。 給食提供時は別配膳にて、園長（又は主任）・調理員・クラス担任のチェックを施し再確認した。クラスでは介助の際担当保育士を決め、誤飲・誤食のないよう細心の注意をはらった。
安全チェック	月に1度、「安全チェックリスト」にて園舎内外の安全面を確認した。
避難訓練（毎月）	毎月火災や地震などを想定し、避難訓練計画に乗っ取り実施した。 いろいろな災害を想定し、自分の身を守る方法を教えると共に、防災の意義を持たせ、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。 児童コミュニティクラブやつどいの広場との合同訓練も行った。
防犯訓練	2月に不審者回避等の訓練を行った。 正面玄関や園庭からの不審者進入に対し、児童の安全を第一義とした防犯避難訓練を実施し、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。
交通安全指導（毎月）	毎月交通ルール等の指導をした。 散歩時に信号機の見方やルールを教えたり、各クラスで紙芝居や絵本を使って交通安全の大切さを学んだ。
消防設備点検	9月、3月に、丸興商会に委託して実施した。

## 5. 地域交流

- ◎5歳児、年度末に、比々多小学校の「ようこそ ねんちょうさん」に招待され、近隣の幼稚園児と共に体育館での“はじめの会”や一年生に校内を案内してもらい、教室でおりがみなどして遊ぶ。  
1月、比々多小学校の5年生が授業の一環として5歳児とおにごっこやゲームなどをして交流をした。
- ◎7月七夕、県立塔の山公園より依頼を受け、七夕飾りを製作し飾る。
- ◎10月ハロウィン、全園児で近隣の事業所に（予め日程や時間を調整）園児が訪問して「トリック オア トリート」と声を掛け、お菓子を頂く。  
七夕は県立塔の山公園の飾りのみ。ハロウィンは規模を縮小して行った。
- ◎11月みかん狩り、年長児が市内のみかん畑に行きみかん狩りを楽しむ。
- ◎11月感謝の日、5歳児がハロウィン等のお礼に、事業所等（1カ所）に園児手作りの感謝状を渡す。
- ◎2月比々多公民館まつりに5歳児の作品を展示する。（2日間）
- ◎伊勢原市教育センター主催の「地域教育機関等連絡協議会」（中学校学区4グループでの協議）が年4回ほど行われ、地域との連携について話し合っている。
- ◎比々多小学校学校運営委員会に出席し、地域との連携や、卒園児の様子を聞いている。（年3回）

## 6. 苦情解決等

年度初めに職員の言動に関してのご意見・ご要望があった。

小さなご意見はあったが、その都度話し合いで解決した。

## 7. 施設整備等

■固定資産としては、避難車（約16万円）等購入した。

◎ 6月・12月 園庭と園周りの草刈り、木々の枝選定を行う

◎ 12月 1階靴箱上の雨漏り修理

◎ 2月 砂場改修工事

◎ 3月 園庭遊具の設置